

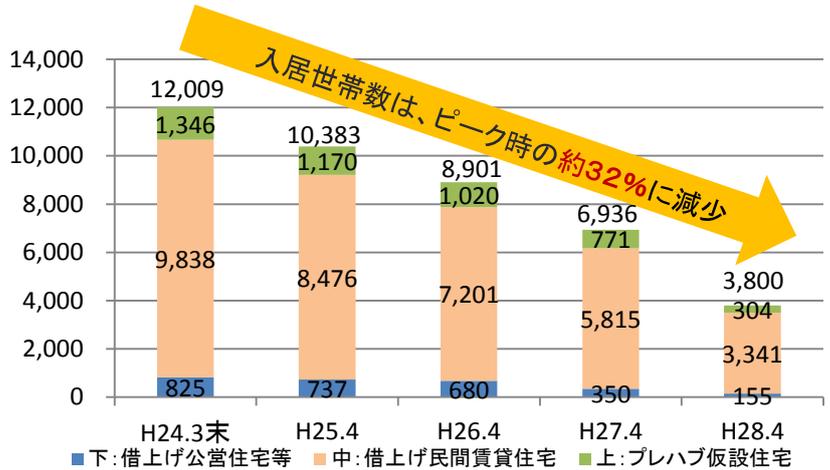
仮設住宅入居世帯の生活再建については、戸別訪問等により世帯ごとの状況や課題を把握し、平成26年3月に策定した生活再建推進プログラム（平成27年3月～生活再建加速プログラム）に沿って支援してまいりました。本市で被災された方の仮設住宅供与はこの春から夏にかけて終了のピークとなります。今後はこうした供与終了を迎える世帯を中心に、住まいの再建を確実に果たしていただけますよう、個別支援を強化してまいります。

## 入居世帯の推移

仙台市内の応急仮設住宅には、平成24年3月末のピーク時において約1万2千世帯が入居されていましたが、住まいと暮らしの再建が進んできたことにより、現在はピーク時の約32%にまで減少しています。

ピーク時には仮設住宅の約82%、平成28年4月現在では約88%が借上げ民間賃貸住宅（※）です。

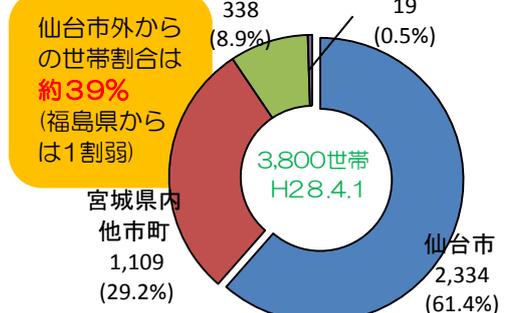
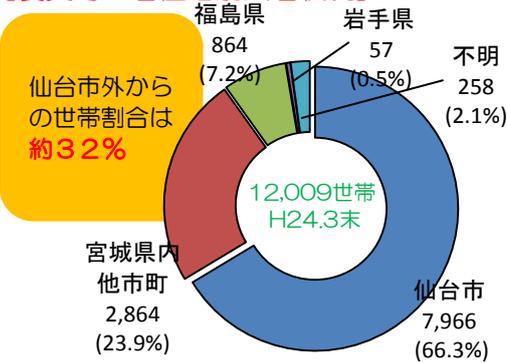
※既存の住宅ストックを大量活用した初めての事例



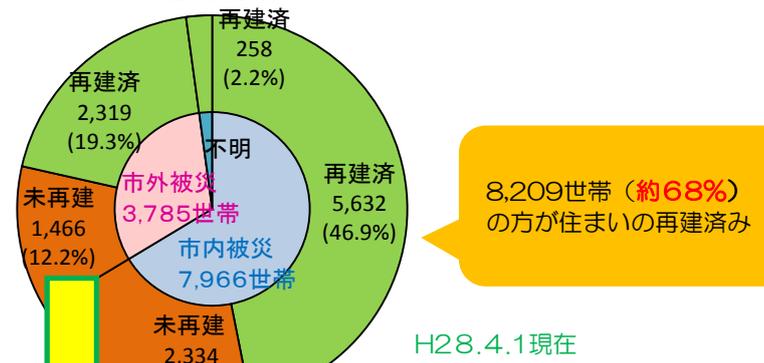
## 震災時の居住地と住まいの再建

東北に広く被害をもたらした今回の震災では、避難も広域的に行われ、現在、市内の仮設住宅入居世帯の約39%は、市外で被災された世帯です。市外で被災された世帯は、市内で被災された世帯に比べ、住まいの再建が遅れる傾向にあり、これらの世帯に対する支援は今後引き続き取り組むべき課題です。

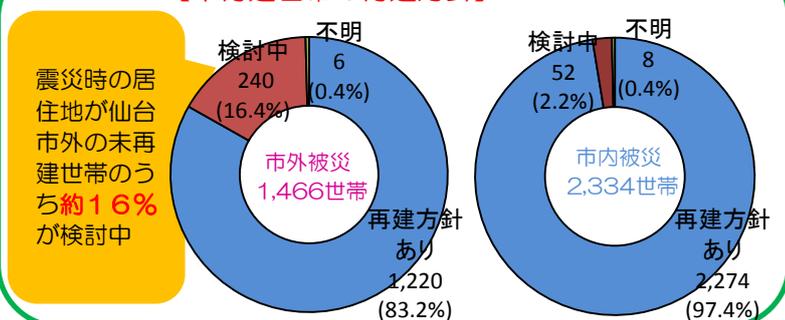
【震災時の居住地別入居状況】



【震災時の居住地別再建状況】

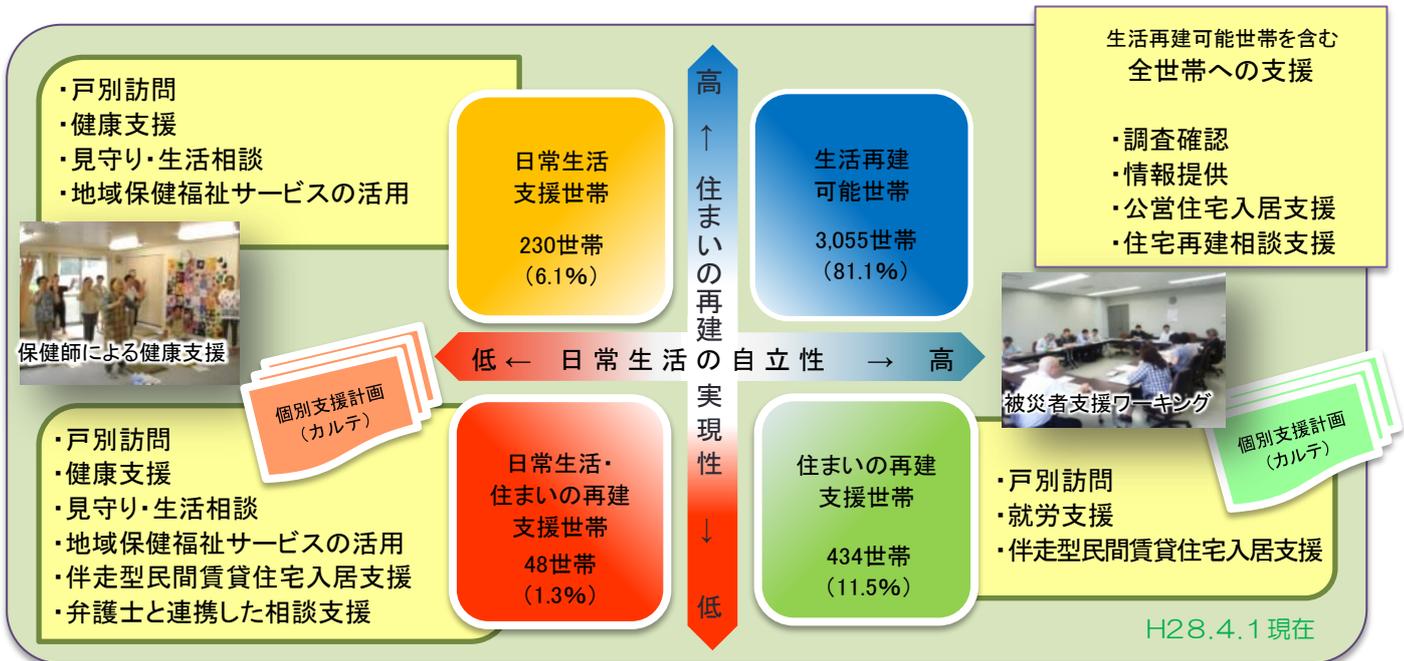


【未再建世帯の再建方針】



# 入居世帯への支援

新たな生活の場へ供与期間内に確実に移行できるよう、課題を抱える世帯に対する移行支援策の充実・強化に加え、未だ接触できない世帯への対応や、本市で被災し市外の仮設住宅に入居されている世帯への支援にも取り組んでいます。



**接触できない市内の仮設住宅入居世帯 33世帯**

- 戸別訪問調査
- 情報提供や相談支援
- 居住実態のない世帯への退去勧奨等

**市内で被災した市外の仮設住宅入居世帯 248世帯**

- 情報提供や相談支援 (県内) 避難先市町村との連携 (県外) 交流会等での面談等

## ● 復興公営住宅で新しい町内会が生まれています ●

平成25年4月から入居が始まった復興公営住宅では、近隣町内会や社会福祉協議会など地域団体等の支援のもと、入居された方々が主体となり、コミュニティ活動の要(かなめ)となる町内会の設立や既存町内会への加入が進んでいます。

### 4月17日にあすと長町第2復興公営住宅で町内会設立総会が開催されました

太白区长町地区に整備されたこの復興公営住宅には、現在94世帯204名の方が暮らしています。この住宅では、住民有志が町内会設立に向けた話し合いを約1年の間続けてきました。総会では、会則や役員体制、今後1年間の活動内容等が決まり、市内の復興公営住宅では12番目となる町内会「あすと長町第2市営住宅住民の会」が誕生しました。



多くの世帯が参加しやすい会に！  
皆が使う共用部分の清掃活動など、身近なことから始めていきましょう！  
—会長談—



復興公営住宅の  
町内会設立等の状況  
(H28.4.21.現在)

既存の町内会に加入：19団地  
新たな町内会を設立：12団地

